

**令和4年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】  
26事業が内定しました。**

「地域発 元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定会議の構成員による意見聴取を経て下記のとおり内定しました。

- 当地域の要望状況は、30団体、30事業で、要望額の合計は、5,499万2千円でした。
- 内示額の合計4,901万円は、当地域への配分額(予算額)5,532万3千円を下回りました。
- 2次募集の実施を予定しております。詳細については、別途お知らせします。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	4	14,199	手づくり農村支援事業、協働のむらづくり事業
2 保健、医療、福祉の充実	0	0	
3 教育、文化の振興	6	8,570	子どもの環境・郷土学習に関わる事業
4 安全・安心な地域づくり	0	0	
5 環境保全・景観形成	2	1,997	古民家・土蔵・古材利用(資源活用型住宅)「しあわせ不動産」事業
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	12	22,259	
(1) 特色ある観光地づくり	6	12,188	志賀高原ヒルクライム事業、広域サイクリング観光推進事業
(2) 農業の振興と農山村づくり	3	3,510	北志賀そば商品の普及・振興、おいしい木島平食材をもっと「知りたい・PRしたい」
(3) 森林づくりと林業の振興	0	0	
(4) 商業の振興	1	1,278	若者も手軽に♪ゆ〜ゆ〜カードポイントをスマホアプリで貯めよう!
(5) その他	2	5,283	若者と協働してつくる安全安心な超特別栽培米プロジェクト
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	2	1,985	うまいもんと地酒 信州SOUL2022 復活、そして伝説へ……
合 計	26	49,010	

【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	2	1,997	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業
地域防災力の向上	0	0	
若者のUIターン就業の促進	4	9,015	山ノ内町の宿泊施設と連携した観光人材育成プログラム
子育ての支援や地域の歴史・文化・産業等の学びの推進	3	2,386	かわまちづくり推進事業
若者定着のための就業支援・産業創出	1	2,848	飯山仏壇「命の器」ニューノーマル展開事業
一人多役等ライフスタイルの発信と移住・交流・まち(むら)づくり	0	0	
雪対策と利雪の推進	0	0	
医療・公共交通等の生活基盤の整備	0	0	
通年型の広域観光の推進	5	10,876	秋山郷サスティナブルツーリズム事業
農産物の生産・販売強化と魅力の発信	6	6,411	きのこの魅力発信事業、温井里山活性化事業
合 計	21	33,533	

2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額
市町村	4	15,901
広域連合等	0	0
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	22	33,109
合 計	26	49,010

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

北信地域振興局 企画振興課  
 (課長) 北澤良和 (担当) 石田稔文、丸山紘平  
 電話 0269-23-0201 (直通)  
 F A X 0269-23-0256  
 E-mail hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和4年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】選定事業 一覧表

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ区分
					総事業費	支援金要望額	支援金内定額	
1	教育、文化の振興	子どもの環境・郷土学習に関わる事業	特定非営利活動法人 信州ふるさと郷育ネットワーク	地域の歴史や文化に触れ、郷土愛に溢れた子どもを育むために、中野市の歴史や文化等に関してまとめ、2016年から小学3年生を対象に「中野ふるさとドリル」を配布してきた。今年度は、教育現場でも活用が進むタブレットに対応するための改修を行うほか、ふるさと検定もアプリ化し、受験者数の増加を目指す。 ①ふるさとドリルWEBアプリ制作費用、ジュニア検定WEBアプリ制作費用等(1397)	1,398	1,118	1,118	子育て支援 学びの推進
2	教育、文化の振興	きのこの魅力発信事業	明日はきのこを食べようプロジェクト協議会	中野市が日本一の生産量を誇るきのこですが、地元企業では近年、就職希望者が減少し人手不足が進んでいる。 そこで、消費拡大や認知度を高めるため、幼稚園児へのきのこほぐし体験・絵本配布、小学生のきのこ工場見学・栽培体験を行うほか、きのこの消費量が低下する春夏のきのこの楽しみ方を提案する、きのこフードフェスを開催する。 ①小学校児童へのきのこ食育強化事業(冊子作製費、栽培体験キット購入費等)、幼稚園、保育園へのきのこ食育強化事業等(1,181)	1,182	916	916	農産物生産 販売強化
3	教育、文化の振興	《バラと芸術を結ぶ》映画「バラのラブソング～時が咲いた」プロジェクト	プランクリエ・ミュージックアートプロジェクト	申請者が「一本木公園」をイメージして作曲したオリジナル楽曲「バラのラブソング～時が咲いた」にアニメーション映像を加えたショートムービーを制作し、中野市博物館のプラネタリウムでの上映コンサートを実施して「バラのまち信州中野」ブランド確立の推進と観光PRを狙う。 ①映像製作費(700)、出演料(100)、チラシ印刷費等(200)	1,000	800	800	子育て支援 学びの推進
4	その他地域の元気を生み出す地域づくり	うまいもと地酒 信州 SOUL2022 復活、そして伝説へ・・・	Sakefeti (サケフェチ)	北信地域の魅力的な食材や酒類の魅力を発信し地域の振興を図るために、9月11日(日)に陣屋前広場公園で、お酒の有料試飲と飲食の販売及びテイクアウトのイベントを実施し、感染対策を講じながら、時代に合った食の魅力発信を目指す。 イベントは、県内10の酒蔵、北信地域を中心に8の飲食店等が出展し、1,000人程度の来場を見込む。 ①サケフェチイベント費用(会場設営資材費、広告宣伝費、チラシ等)(2,768)	2,768	1,547	1,547	農産物生産 販売強化
5	地域協働の推進	手作り農村支援事業	中野市	農作業の負担が高齢化や後継者不足により、負担が増加する農村地域で、負担軽減や効率化、地域協働による自立した基盤整備を推進するため、農道や用排水路の補修等に必要な材料支給や重機の提供の支援を行う。 ②農道舗装9地区(5,802)、水路改修8地区(5,641)	11,443	5,721	5,721	
6	教育、文化の振興	地元間伐材と古材を利用した活動拠点の整備を通じた、林業、環境、建築、防災に関する課題解決と教育プログラムの実践～木材の加工と建て方	特定非営利活動法人フォレスト工房もくり	森林の管理、森林資源の有効性等を学び林業に携わる人材の育成やゼロカーボンに向けた取組の推進を図るために、森林の生態や管理方法、伐木造材に関する講習をオンラインと実地で実施する。また間伐材と古材を活用して活動拠点となる施設を信州大学の建築学科の学生を中心に整備を行う。 ①講師謝金、研修用大工道具、講習開催費等(1,825) ②大工工事、屋根工事(2,430)	4,256	3,282	3,282	若者のUターン就職
7	教育、文化の振興	かわまちづくり推進事業	千曲川北信5市町かわまちづくり推進協議会	千曲川の河川空間等を活用した広域観光の推進を図るために、屋島橋から湯滝橋間を3区間に分けて川下りのモニターツアーを実施するとともに、サイクリングによる歴史散策のモニターツアーを3回実施する。「日本一長い川=大きな資源」を十分に活用し、地域の活性化を図る。 ①川下りモニターツアー(495)、電動アシスト付自転車レンタル費(90)	585	468	468	子育て支援 学びの推進
8	環境保全、景観形成	古民家・土蔵・古材利用(資源活用型住宅)「しあわせ不動産」事業	一般社団法人未来社会推進機構	集落の維持と地域の活性化を図るために、古民家や土蔵、古材の活用希望者と不動産等をマッチングとともに、建築や改修工事に関する技術支援に向けて活動する。 具体的には、古民家再生等に関するワークショップの開催や広報用動画の作成、ホームページの開設等を行う。 ①ホームページ製作費、動画撮影及び編集費、チラシ印刷費等(874)	874	699	589	2050ゼロカーボン
9	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	飯山仏壇「命の器」ニューノーマル展開事業	飯山仏壇事業協同組合	国指定の伝統工芸品である飯山仏壇はライフスタイルの変化などにより、市場が縮小し厳しい状況が続いている。R3年度は元気づくり支援金を活用して、「飯山仏壇」の伝統技術の継承と産業振興を図るために新商品として故人を思い出す「命の器」を開発した。 R4年度は、「命の器」の商品化させ、販売に向けた広報及び商品展示会への出品を行い、産業の創出を図る。 ①記者会見運営費(490)、新聞等掲載費(488)、パンフレット等製作費(530)、ホームページ、PPT等製作費(1,021)、消耗品費(55) ②商品製作機器購入費(1,078)、消耗品費(198)	3,861	3,024	2,848	若者就業支援、産業振興
10	その他地域の元気を生み出す地域づくり	温井里山活性化事業	温井村づくり委員会	毎月1回ほど廃寺で「寄せ植え」や「座禅」等をテーマにした寺カフェを開催し、直売所では地元の農産物のPR活動を実施する。人口減少や高齢化により、住民が集う機会が減る中で、地域のコミュニティ維持の役割を充実させるために寺カフェの告知や、駐車場整備等を行い、温井地区の活性化を図る。 ①カフェイベント運営費(講師謝礼費、広報費)(135) ②駐車場等整備費(528)	739	504	438	農産物生産 販売強化

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	事業費 (単位:千円)			重点テーマ区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
11	地域協働の推進	協働のむらづくり事業	飯山市	住民と市が協働して農道や林道、農業用水路等を整備することで、農林業の生産性を高める。また協働作業を通じて住民同士の交流や連帯を図ることで、地域活性化につなげる。事業では、必要な材料支給や重機の提供の支援を行う。 ②農道整備10地区(2,370)、林道整備2地区(600)、水路改修20地区(4,160)	7,130	4,242	4,242	
12	特色ある観光地づくり	ONSEN・ガストロノミーウォーキングinスノーモンキータウン事業	スノーモンキーONSEN・ガストロノミーウォーキング実行委員会	湯田中渋温泉郷の魅力発信し、入込増を図るために、8月21日(日)に「めぐる」、「たべる」、「つかる」をテーマに約8kmの温泉街を巡りながら農産物、畜産品、加工品に加え地酒等をふるまうガストロノミーウォーキングのイベントを実施する。開湯1,300年余りの温泉と北信地域の食のPRや、県内におけるONSEN・ガストロノミーウォーキングの浸透を図る。 ①PR費(968)、イベント運営費(2,963)、スタッフ経費(444)、事務費(360)	4,736	2,566	2,566	通年型広域
13	特色ある観光地づくり	志賀高原ヒルクライム事業	志賀高原ヒルクライム実行委員会	志賀高原を縦断する国道292号は、標高約500mの湯田中渋温泉郷と標高2200mを越す渋峠を結び、日本国道最高地点を有する国内有数の山岳道路である。 旅行者のニーズが多様化する中、自転車を活用した自然に負担をかけない旅行形態が求められており、コロナ禍における自然を活用した旅行商品の作成が必要である。 国立公園内の自然に負担をかけないサイクルツーリズムの振興を図るため、志賀高原ヒルクライムイベントを開催する。 ①イベント運営費(1,268)、通行規制(案内看板、チラシ製作等)に伴う経費(1,386)消耗品等(2,145)	4,899	3,584	3,584	通年型広域
14	特色ある観光地づくり	山ノ内町の宿泊施設と連携した観光人材育成プログラム	一般社団法人観光教育・インターンシップセンター	湯田中温泉、志賀高原という一大観光地を抱える山ノ内町では、旅館業の人手・人材不足が進んでいる。期間従業員等の派遣で対応している事業者も多いが、長期的な視点では、地域や山ノ内町を愛し、将来を担う人材育成が急務である。 この課題解決のため、高校生、専門学校生及び大学生を対象に、座学、現地研修を行うほか、宿泊施設の経営を実際に学生が行う旅館経営実践を通じ、仕事の理解と就業につなげる。 ①インターンシップ講師謝礼(450)、講師旅費(495)、学生アクティビティ費(396)、会場費(300)	1,641	1,312	1,312	若者のUターン就進
15	農業の振興と農山村づくり	北志賀そば商品の普及・振興事業	北志賀高原観光協会	そばの人気の高い長野県だが、北志賀高原のそばも人気が高い。そばを通じた観光誘客と地域活性化を図るために、北志賀そばパスタ、そばサラダといった新メニューや北志賀そばドレッシングを開発する。新メニューは、飲食店のほか、宿泊施設やスキー場等でも味わえるよう講習会を実施するとともに、町内のイベントへも参加して試食会を行い、ツーリズム商品として観光誘致につなげる。 ①新メニュー料理開発及び講習会開催費(737)、試食会開催費(407)、イベント備品等(134)、ドレッシング開発費(220)	1,498	1,198	1,198	農産物生産販売強化
16	地域協働の推進	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備	山ノ内町	高齢化や後継者不足により、農林業の経営は困難な状況に置かれ、負担軽減や効率化を図る上で、農林業に欠かせない農道、林道及び農業用水路の整備は急務である。地域で実施される農道や用排水路の補修等の協働活動のために、必要な材料支給や重機の提供の支援することで、住民の交流や地域のつながりの強化を目指す。 ②農道整備1地区(835)、林道整備1地区(992)、水路改修3地区(2,627)、標柱費(66)	4,523	2,261	2,261	
17	環境保全、景観形成	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト	豪雪地域でのゼロカーボン推進を図るため、R2年から支援金を活用して3年目。今年は、村内で太陽光発電パネルを設置するモデルハウスを募集するとともに、中学生に小太陽光発電・LEDライトの制作講習と家庭での設置、さらに太陽光パネルを使用した電気柵の設置等により、ゼロカーボンに対する住民の関心を高める。 ①ソーラーパネル材料費(550)、多機能電気柵5台(181)、ワークショップ講師謝礼(120)、消耗品(113) ②太陽光発電設置費(849)	1,815	1,408	1,408	2050ゼロボン
18	農業の振興と農山村づくり	本当においしい木島平食材をもっと「知りたい・PRしたい」プロジェクト	一般社団法人木島平村観光振興局	木島平米等の木島平食材の認知度向上と消費拡大により生産意欲の向上とブランド化・産地化を図るために、木島平村の米、野菜、酒を扱う村内の店舗に「木島平食材の取扱店」のプレート配布する。また村内の圃場で年4回の稲作文化体験講座を開催し、米作り・稲作文化に触れる機会を設け、木島平米ファンを増やす。 ①プレート製作費(410)、稲作体験講師謝金(78)、看護師謝金(32)、刈払機3台(123)、資材費(120)	764	610	610	農産物生産販売強化
19	農業の振興と農山村づくり	デジタル空間を活用した～木島平米PR事業	木島平村	米のオリンピックと言われる「米・食味分析鑑定コンクール:国際大会」で8年連続金賞を受賞した木島平米。しかしコロナ禍で対面でのPR活動が減り需要減となっており、販売量や販路の拡大等を図るために、木島平米・金紋錦日本酒のデジタルパンフレットを作成するとともに、生産者自らがインターネットで木島平米を販売できるようにするためデジタル化講習会等を行う。 ①講習会講師謝金(155)、デジタルパンフレット製作費(253)、SNS等広告掲載費(1,059)、オンラインイベント運営費(660)	2,129	1,702	1,702	農産物生産販売強化
20	教育、文化の振興	Nozawa Art Project 2022	Nozawa Art Project 運営委員会	岡本太郎等の芸術作品等が点在する野沢温泉村において芸術作品を通じてグリーンシーズンの観光と内外の人々との交流を図るために、ペインティングや写真を楽しむ「ワークショップ」、村内の各種施設に美術作品を設置し、観光客、村民が参加して散策しながら入賞作品を決める人気投票「アートウォーク」を開催。また、作品はホームページ上でも閲覧できるようにし、動画の掲載も行うことで新しい誘客につなげる。 ①ワークショップ開催費(1,285)、アートウォーク開催費(1,895)ホームページ制作費(220)	3,174	1,986	1,986	若者のUターン就進

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容（単位：千円） （主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業）	事業費（単位：千円）			重点テーマ区分
					総事業費	支援金 要望額	支援金 内定額	
21	特色ある観光地づくり	新・湯治 NOZAWA ONSEN Stay 【養生食開発事業】	一般財団法人 野沢温泉観光協会	日本で唯一、自治体名に「温泉」が付く野沢温泉村。年間3万人訪れたインバウンド重要な急減に伴い温泉を活かした新たなコンテンツ作りが課題となっている。課題解決のため、「新・湯治」による滞在型の宿泊スタイルを提案するために、温泉食材（粥、湯葉、卵等）と郷土料理を活用した養生食講習会の開催やレシピテキストを作成し、通年型の観光誘客を図る。 ①講習会講師謝礼（300）、レシピ開発費（300）、講習会開催費（400）	1,000	800	800	通年型広域観光
22	商業の振興	若者も手軽に♪ゆ〜ゆ〜カードポイントをスマホアプリで貯めよう！	野沢温泉スタンプ会	ポイントを地域通貨として利用できるとともに、キャッシュレス決済機能を有した「新・ゆ〜ゆ〜カード」を令和3年秋から導入を始めた。今年度は、若者や観光客への利用を広げるためにスマートフォンでも対応できるアプリを導入し、さらなる利用者の拡大を図る。 ①スマホアプリ制作費（1,705）	1,705	1,278	1,278	
23	特色ある観光地づくり	広域サイクリング観光推進事業	広域サイクリングルート研究会	密を避け、気軽に楽しめるとして人気の高いサイクリングやポタリングを、栄村だけでなく十日町市、津南町の観光協会と連携して、普及を目指す。受入環境整備として市町村間の自転車乗り捨て制度の構築や、SNS投稿による参加型企画を実施し、ポタリングの推進や、奥信越地域の自然、文化、歴史等の魅力のPRにつなげる。 ①専用ホームページ制作費等広報費（968）、受入環境整備費（72）、予備費等（39）	1,080	832	832	通年型広域観光
24	特色ある観光地づくり	秋山郷サステイナブルツーリズム事業	サステイナブルツーリズム秋山郷実行委員会	長野・新潟両県に位置する秋山郷の観光振興を図るために、遊休施設等を改修して拠点施設を整備するとともに、初夏から秋頃までに秋山郷内を巡る着地型観光ツアーを開催する。またサステイナブルの視点から、食を通して自然環境を知り、食料廃棄問題など、学ぶツーリズムの推進を図る。 ①にぎわい拠点整備費（1,536）、観光ツアー運営費（1,223） ②にぎわい拠点整備費（2,822）	5,582	4,323	3,094	通年型広域観光
25	その他（産業の振興及び雇用の拡大）	若者と協働してつくる安全安心な超特別栽培米プロジェクト	青倉受託作業班	高齢化や人口減少から田んぼを守ることを目的に結成された青倉受託作業班。これまでは農地を守ることに重きを置いてきたが、生産する米の販路拡大等を図るために、新たに「SNOW RICE」（仮称）のブランド米を作り、販路拡大を目指す。具体的には、ロゴマークやパッケージ作成に加え、色彩選別機や選別計量機による高品質化によるブランド化を進める。 ①米袋デザイン費（100）、収穫祭講師謝金（100） ②色彩選別機及び選別機導入費（3,033）	3,234	2,435	2,435	若者のUターン就業促進
26	地域協働の推進	農地等国土保全事業	栄村	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②農道整備3地区（545）、水路整備9地区（2,941）	3,487	1,975	1,975	
北信地域振興局 計				26事業	76,503	50,591	49,010	